

行 政 報 告

第3回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、台風10号による被害について申し上げます。

8月30日から31日にかけての台風10号による被害状況は、町内全域で建物の損壊のほか、看板の落下、塀の倒壊などが発生しましたが、幸い人身に関する被害はありませんでした。

また、今回の台風では、高潮による被害が想定されたことから、町内4ヶ所に避難所を開設し、16世帯30人の避難がありました。

農業関係では、営農施設の被害や、停電による生乳の廃棄が一部にあり、今後、塩害による農作物の被害も懸念されるところであります。

林業関係では、町内全域で倒木が多数発生したことから、全容を解明すべく調査中であります。

水産関係では、漁船や漁港荷捌所、各作業場に被害があり、養殖施設等については、現在調査中であります。

町道関係では、25路線が一時、倒木等により通行止めとなりましたが、夜間を通しての復旧作業により順次開通をしております。

公共施設関係では、役場大型車庫シャッターの破損、中ノ沢駅前バス待合所の倒壊、国縫ポンプ場屋根の損壊などのほか、現在、町有林の被害状況を調査中であり、確定次第、復旧に係る費用について専決処分等により対応してまいります。

次に、財政関係について申し上げます。

本年度の普通交付税交付額は、7月26日に決定されました。

普通交付税の算定結果は、基準財政需要額29億1,220万円から基準財政収入額6億7,202万9千円、調整額239万6千円を控除した22億3,777万5千円が交付額となり、前年度と比較し、4.4パーセント、1億259万2千円の減額となりました。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

長万部キャンパスにおきまして、8月23日から27日にかけて、東京理科大学長万部キャンパス開設30年記念イベントが盛大に開催されました。宇宙飛行士の毛利衛氏による講演会や、全国から同窓生が集う大同窓会などのほか、最終日には、長万部町のこれからのテーマに「長万部フォーラム」が開催され、冒頭、本町から東京理科大学に対し、産業振興に資する研究費用などに充てていただくための寄付金500万円の贈呈セレモニーがあり、藤嶋学長へ目録を贈呈いたしました。

その後、長万部キャンパス創設から30年の歴史の振り返り、長万部町のこれからの地方創生への取組紹介や、理科大との連携事業である再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネス事業の事業展開などについての発表がありました。

アグリビジネス事業につきましては、現在、研究を開始したレタスなどの本格的栽培の前に、事業展開後の経営の安定化を図るため、ヒートポンプなどの再生可能エネルギーによる熱源や収益の確立を優先する段階である旨の説明がされたところであり、引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

次に、JR北海道による町内駅の廃止提案について申し上げます。

北海道旅客鉄道株式会社函館支社においては、平成29年3月のダイヤ改正に合わせ、利用者数が少ない北豊津駅と蕨岱駅の廃止について検討されているところであります。

これを受け、地元町内会を通して両駅の利用状況を調査した結果、豊津・豊野地区の住民、蕨岱地区の住民のほか、黒松内町歌才地区の住民が通勤・通学・買い物、通院のための交通手段として利用しており、来年以降は、長万部中学校に在籍する生徒の長万部高校への通学利用も予想されるところであります。

両地域の町内会などからも、地域住民の生活に直結する必要不可欠な交通手段である駅の存続を求める強い要望があったことから、7月26日

に同社函館支社長に対し、議長及び黒松内町の副町長、副議長のご同行をいただき、長万部町・長万部町議会・黒松内町・黒松内町議会の連名による両駅の存続を求める要望書を提出してまいりました。

しかし、同社からは、全道的な交通体系の見直しにより、両駅の存続は困難との見方が示されており、駅を存続させるためには、町による維持管理や経費負担が求められておりましたが、同社による経費の一部負担などの妥協案も示されないものでありました。

このため、冬期間の除雪をはじめ、設備点検や草刈などのほか、今後、設備の老朽化による更新費用なども見込まれることから、厳しい財政状況の中、町管理による両駅の存続は極めて困難であると判断せざるを得ない状況となっております。

今後は、これらを踏まえ、地域住民の利用状況を精査したうえで、代替交通手段の確保などにより、地域住民の足を守るべく検討を進めてまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

開業から5ヶ月あまりが経過した新青森・新函館北斗間については、7月実績で対前年比1.8倍となる1日平均7千8百人が利用するなど、好調が伝えられております。

こうした中、先月10日の飯生神社の祭典に併せて行われた開業記念イベントでは、約3千発の花火が打ち上げられ、音楽に合わせて繰り広げられるスターマインの美しさに多くの町民が酔いしれるなど、新幹線開業を大いに盛り上げました。

本町といたしましては、引き続き、新幹線の開業効果を町民が実感できるよう、様々な取組を積極的に進めてまいります。

一方、新函館北斗・札幌間につきましては、15年後の長万部駅開業を見据えたまちづくりや、地方創生の推進について検討・協議を行うことを目的とした「長万部まちづくり推進会議」を設置し、7月19日に第1回会議を開催いたしました。

また、将来のまちづくりの参考とするため、7月28日・29日の2日間、

推進会議の委員など17名により、北陸新幹線の糸魚川駅を視察したところであります。

今年度は、駅周辺の整備方針を決定するとともに、広域の玄関口としての機能強化や中心市街地の再生といった取組を進めていく上での方策となる「新幹線駅周辺整備計画」を策定することとしており、策定にあたっては、推進会議などとも密接に連携しながら進めてまいります。

次に、地域おこし協力隊について申し上げます。

4月に採用された観光分野での支援員2名については、6月にオホーツク管内津別町で開催された全道研修会に参加し、他地域の協力隊員とのネットワークづくりを行いました。

また、7月には、おしゃまんべ毛がにまつり会場内に上川管内占冠村の協力隊員と連携してブースを設置し、コースターづくりや、まんべくんTシャツの販売を行うなど、一日も早く地域に溶け込めるよう、日々業務に取り組んでおります。

また、6月に採用された農業分野の支援員1名についても、過去の経験を活かし、先進的アグリビジネス事業や地域コミュニティFMの企画・立案を担うなど、積極的な活動を展開しております。

次に、臨時福祉給付金について申し上げます。

本年6月から、所得の少ない高齢者等を対象に年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給を開始し、8月末で847名への支給を完了しております。

10月からは、昨年と同様に住民税非課税者を対象とした給付金と、低所得者の障害・遺族基礎年金受給者向け給付金の申請を開始する予定であり、給付対象になるとと思われる方には申請書を送付するとともに、町広報で広く町民のみなさんへ周知し、適切に事業を進めてまいります。

なお、関連する費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、防犯灯・街路灯LED化事業について申し上げます。

このたび、平成28年度環境省所管補助事業である「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」が交付決定されたことから、現在、町で管理する防犯灯・街路灯の現状把握と管理図・台帳を整備し、LED化導入工事を適切に施工するためのLED照明導入調査を委託事業により実施しております。

この事業完了後、環境に配慮した町づくりを実現するため、10年間のリース方式を前提としたLED化への一括更新工事を、今年度中に実施予定であり、関連する費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、衛生処理対策について申し上げます。

本町及び八雲町のし尿・浄化槽汚泥については、両町で構成する山越郡衛生処理組合の「うちうらクリーンセンター」で処理を行っておりますが、供用開始から22年以上が経過し、機械設備等の老朽化により将来に向けて大規模修繕工事が必要な状況となっております。

このため、昨年から汚水処理施設共同整備事業計画を策定し、今後の対策について関係機関と協議を重ねた結果、各町個別の下水道施設で共同処理をする「汚水処理施設共同整備事業（MICS事業）」を導入することが最も合理的であるという結論に達したことから、本事業推進に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、子育て支援について申し上げます。

北海道が実施している妊産婦安心出産支援事業が本年度から拡大されたことにより、本町においても対象となることから、妊娠・出産時の健康診査受診等に対し、新たに交通費の一定額を助成することとしており、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、地域会館関係について申し上げます。

静狩振興会館の屋根及び外壁が経年劣化により、腐食、ひび割れ等が各所に見られ、雨漏り等が頻発していることから、改修工事を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草は、8月15日現在の生育状況調査では、天候不順により1番草の収穫が遅れ、従い2番草の収穫も遅れております。また、サイレージ用とうもろこしの生育も天候不順により遅れております。

生乳生産量は1月から7月末日まで6,046トンを出荷し、前年に比べ26トンの減となりましたが、乳代は5億4,195万円で前年に比べ984万円の増となっております。

黒毛和牛の1月から7月までの販売頭数は141頭、販売金額は1億642万円となっており、前年同期と比較して販売頭数は6頭の減となりましたが、販売金額では2,019万円の増となりました。

また、昨年より誘致を進めておりました、インターファーム株式会社の新農場が知来地区に建設することが決まり、9月12日に起工式が行われることとなっております。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業地拵・植栽事業3ヘクタールは5月31日に完了しており、さらに秋植を3ヘクタール予定しております。

町有林一般造林事業下刈事業の豊津地区2ヘクタール及び共立地区5ヘクタール、静狩地区17.05ヘクタールは、7月20日に完了し、春植分3ヘクタールについても、8月5日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業の下刈事業は、豊津地区13.96ヘクタールを、7月4日に完了しております。

道営事業で進めている森林基幹道豊津・黒岩線の林道整備事業は、5月27日に着手しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

漁業関係全体の1月から7月末までの水揚げ実績は、約40億円と前年同期と比較し、約11億円ほど減少しております。

このうち、ホタテ貝の生産量は1万688トンで前年同期と比較し、約8,041トン減少しており、水揚げ実績では、約12億1千万円の減となっております。ホタテ貝の生産量が減少した要因として、今年に入り噴火湾全域でホタテ貝成貝及び稚貝が弊死しているためと考えられ、原因については現在、調査中ではありますが、今後、拡大する恐れがありますので、各関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

ホタテ貝養殖漁業における地場採苗の状況は、6月から投入した採苗機に昨年同様、多くのホタテ貝種苗が付着しているのが確認されております。しかし、付着したばかりの種苗は、最も弱い時期でもあり、慎重な取り扱いが必要となりますので、こちらも各関係機関と連携を図り、生育動向を注視してまいります。

北海道が事業主体となり、水産物供給基盤機能保全事業で行う老朽化した静狩漁港旧中央埠頭等の機能保全工事は、今年度も順調に工事が施工されており、平成28年度中の完成予定となっております。また、長万部漁港の機能保全工事調査設計及び防砂堤新設工事も同時に施工されております。

近年、噴火湾海域で大量発生しているザラボヤ等の付着物は、今年も7月頃から長万部町海域でホタテ貝養殖桁へ付着しているのが確認されておりますが、付着時期及び付着量も例年並みとなっております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

本町の商工観光振興の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」は、毛がにの漁期の関係で7月2日・3日の開催となりました。残念ながら初日は悪天候に見舞われ開会セレモニー後に中止となりましたが、翌日3日は朝から晴天となり町民のみなさんはもとより、町外からも大勢の来場者があり、お宝もちまき、毛がに早食い競争をはじめとする各種イベントで大変盛り上がりしました。

特に、前浜毛がにの格安販売や「かにめしサミット」の数量限定販売には長蛇の列となり好評でありました。

販売用毛がにの数量確保は、関係機関と検討を重ね、毛がに格安販売を日曜日のみとすることで、十分な販売数量を確保することができました。

長万部駅舎内に設置されております観光案内所では、長万部町を訪れる多くの観光客のみなさんへの町内観光地の情報提供、長万部温泉、二股ラジウム温泉の案内、飲食店や商店の紹介等、積極的な観光アピールを行うとともに特産品の販売を行っております。

合宿誘致事業は、長万部温泉利用協同組合が積極的に誘致活動に取り組んでおり、今年度4月から中学・高校・大学の約100の団体が、剣道・柔道・バスケットボール・弓道など多種目にわたり合宿を行い、延べ2千6百人以上の方が宿泊されました。

例年8月10日に行われている夜みこし行列は、北海道新幹線開業と長万部商工会青年部創立50周年を記念した花火大会が同日に順延されたことに伴い、イベント会場を飯生神社に変更し開催され、町内外から多くの観光客で賑わいました。

次に、建設事業について申し上げます。

建築事業では、単独事業で実施しております町営住宅はまなす第3団地非常灯バッテリー交換工事は、工期内の6月17日に完了しております。

その他、公共施設や町営住宅の修繕工事は、計画的に実施しております。

町道等夏季維持管理業務では、道路の点検や路肩の草刈り等計画的に実施しておりますが、本年度の労務単価の大幅な引き上げに加え、春先に発生した高潮による閉塞河川の掘削作業や、凍上によって破損した道路側溝の補修等、急を要する維持業務が頻発したため、委託料の不足分について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

土木事業では、町道中山大通線外舗装補修工事は、11月中旬までの工期で、町道静狩中央線外舗装補修工事は、11月下旬までの工期で予定どおり施工中であります。

また、JR敷地内排水路整備工事及び長万部中央跨線橋海側階段修繕工事につきましては、12月下旬までの工期で発注しております。

なお、国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する橋梁点検調査及び道路施設点検調査につきましても、12月下旬までの工期で発注しております。

公園事業では、単独事業で実施しております、みなみ児童公園ブランコ外設置工事は、工期内の8月31日に完成しております。

また、同じく単独事業で実施しております、とみのの森遊歩道安全柵設置工事については、9月16日までの工期で、予定どおり施工中であります。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

し尿・浄化槽汚泥を下水道施設で受け入れて処理する汚水処理施設共同整備事業（MICS事業）については、平成31年度の完成に向け、本年度は下水道事業認可変更業務と基本設計委託を実施予定であり、本定例会に補正予算を提案しております。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管改良工事の本通線・大町3号線と本町5号線工区は、それぞれ11月30日の工期で施工中であります。

次に、水道事業について申し上げます。

静狩地区1号水管橋修繕工事は、7月11日に完了しております。

次に、病院事業について申し上げます。

町民のみなさんから再開を望む声が多くありました眼科外来について、診療体制が整いましたので9月より再開することといたしました。

診療は月1回の予約制となることから、診療日及び診療時間については広報等でお知らせしてまいります。

なお、診療再開に伴う眼科診療業務委託料について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、教育関係について申し上げます。

長万部中学校女子卓球部は、7月に行われた全道中学校卓球大会において、見事に全道3位の成績を収め、全国大会への切符を35年ぶりに手にすることができました。

全国中学校卓球大会は、8月21日から富山県において開催され、予選リーグで2敗という結果となり、残念ながら決勝トーナメントに駒を進めることはできませんでしたが、全国の強豪チームを相手にプレーできた貴重な経験は、子どもたちの大きな宝になったことと思います。

なお、今回の全国大会参加に要した費用等につきましては、8月3日付けで専決処分をいたしましたので、本定例会に補正予算の承認を提案いたしております。

9月4日に予定されておりました第46回町民ふれあいオリンピックは、大会役員、参加予定団体等との協議の結果、台風10号による全町的な被害の状況を考慮し中止といたしました。

次に、消防関係について申し上げます。

今年8月末日現在の火災件数は4件で、うち、建物火災が1件、野火が1件、車両火災が1件、海浜地での漁具の燃焼が1件となっております。

救急件数は168件で、うち、急病が86件、交通事故が11件、一般負傷が17件、その他転院搬送などが54件で、ドクターヘリによる搬送が3件となっております。

8月6日、消防団や社会を明るくする運動推進委員会、危険物安全協会の協力のもと、消防庁舎前において体験型のイベント「おしゃまんべ消防フェス2016」を開催し、大人から子どもまで220名以上の方々が来場され大変賑わいました。

9月3日に予定されておりました平成28年度長万部町消防訓練大会は、台風10号による被害の復旧支援のため中止といたしました。

終わりに、本定例会に提案した議件は、専決処分の承認や各会計補正予算、各会計決算認定、副町長の選任など18件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。